３年生　家庭分野

教科書P24～29

２　幼児の生活と遊び

２　幼児の体の発達
３　幼児の心の発達
４　幼児の心身の発達と家族の役割

まとめ　～　幼児の体と心の発達　～

教科書P24～26

- 視野が狭く、手や指の細かい動きができない。
- 発達には順序性と個人差がある。

（順序性・・・中枢部から末端部へ発達する。P24　9図）

- 2歳～4歳にかけて第一次反抗期といわれ、自我が芽生え、自己主張できるようになる。言語や情緒（悲しみ、怒り、喜びなど）が発達していくが、体や運動機能が未発達のため、自分の気持ちの表現が難しいときは、たたいたり、泣いたりすることがある。

おまけ ～ 言語の発達 ～

声遊び

- クーイング → 赤ちゃんの一つの音で言葉にならない声のこと。
  泣き声でもない。例:「あーあー」、「うーうー」
- 喃語（なんご） → 二つ以上の音からなる言葉にならない声のこと。
  例:「ばぶばぶ」、「あうー」

- 一語文 →「一語で相手に意味が伝わる言葉」と捉えておこう。
  例:「まんま」→ごはんのこと、「わんわん」→犬のこと
- 二語文 →「二語で相手に意味が伝わる言葉」と捉えておこう。
  例:「パパ、来た」、「りんご、食べる」

（※ これ以上言葉が増えてくると多語文といいます。）

５月中に課題について

次のテーマでレポート課題に取り組みなさい。

テーマ

「幼児の心身の発達にかかわる家族の役割について、今後自分が大事にしたいこと、気を付けたいこと」

レポートの詳細

※　＋αで絵や図を入れても良いが、
絵や図は文章としてカウントしない。

※　色ペンを使って線を引くなどの工夫をすること。

①ノートの新しいページに取り組む。

②1行目にテーマ（前のスライド「」の中の言葉）を書く。

③2行目からレポートを書く。（必ず10行以上文章で書くこと。箇条書き×）

④幼児の発達の特徴をふまえ、教科書P27「参考　発達を支える安心感」、教科書P28本文を参考にしたり、おうちの人に自分の幼児期の話を聞いたり、幼児の兄弟姉妹・親戚がいれば、その時のエピソードを参考にレポートを書く。